

**福竜丸だより**

— 都立・第五福竜丸展示館ニュース —

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話(521)8494

協会創立八周年にあたって

第五福竜丸と俊鶴丸

第五福竜丸平和協会会長 三宅泰雄

去る六月に開かれた第五福竜丸展示館の開設六周年記念祝賀会のさい、檜山副会長から、第五福竜丸と俊鶴丸の関係につき説明があった。そして第五福竜丸とともに俊鶴丸の業績も、後世にのこすべきであるとのお話があった。

第五福竜丸がビキニ海域で被災

したのは、一九五四年(昭和二九年)の三月一日のことで、はやくも再来春で満三十年となる。このとき、放射能マダロ事件がおこり世の中は物騒然となった。このことから、ビキニ海域の放射能調査を必要とする世論が高まり、農林省水産庁は、米軍の反対を押し切って、俊鶴丸(当時の下関水産講習所、現、農林産省水産大学校所属)をビキニ海域に派遣することとなったのである。



J.H

俊鶴丸は二二人の科学者をのせ海水、プランクトン、魚などの放射能の測定が行われた。その結果は、ビキニ海域のおびただしい放射能汚染を発見し、世界中の話題となった。

ことの重大さにおどろいた米政府は、その翌年のはじめ、沿岸警備隊のタニー号を派遣して、俊鶴丸調査のあとを追試し、俊鶴丸の

調査の正しいことを確認した。その結果として、米政府は日本に、ビキニ事件に対する見舞金として二〇〇万ドルを支払わざるをえなくなったのである。俊鶴丸の調査でわかったことは、海水の放射能汚染は、ビキニ・エニウエトク環礁から東に、一、〇〇〇キロ以上にも及んでいたこと。さらに魚の内臓を汚染したのは、核分裂生成物だけではなく、\*誘導放射性物質による汚染がいちじるしいことを見出したことである。これらは全く予想もなかった新しい発見で、世界の学界に大きい衝撃を与えた。

本協会の創立八周年にあたり、檜山副会長のご提唱のとおり、俊鶴丸の資料収集についても、心をくばりたいと考えている。

\*註  
核分裂生成物 ウランやプルトニウムの原子核が、二個に分裂して生ずる放射性物質。ストロンチウム九〇、セシウム一三七など。  
誘導放射性物質 原水爆の爆発のさいに発せられる中性子線の照射によって生ずる放射性物質。亜鉛六五、コバルト六〇、鉄五五、鉄五九など。

● 100万人参観者運動を!

'82年10月来館者数	5,734名
通算1ヵ月平均来館者数	4,157名
当月1日平均来館者数	212名
通貨来館者数	311,782名

水爆禁止運動の一つの拠点として今後やらねばならないお仕事も多いかと思います。このとき理事をお引き上げすることになり責任の重さを感じ、皆様のご指導の下に私にできるお手伝いをしてゆかねばと思っております。

(草の実会・平和協会理事)

子どもたちの感想文を読んで

服部 学

今年の春、高校の現代社会の教科書が変わったので、副読本にと頼まれて「核兵器——その廃絶をめざして」(東研出版)という本を書きました。都立京橋商業高校の先生が、二年生の夏休みの宿題としてこの本を読んだ感想を集めガリ版の文集にしたものを送って下さいました。女子生徒が多いようですが、とても真剣に読んでくれたことがわかり、本当に嬉しくなりました。そのなかで、ビキニの水爆実験と第五福竜丸のことを取り上げているものがありました。

ましたので、その一部を紹介しておきます。

「『広島、長崎、そしてビキニ』という項目の所を読んだ。最初なんで広島や長崎の原子爆弾に水着のビキニなんて関係あるのかと、不思議に思ってた。読んでみたらそれは水着のビキニではなく、水素爆弾の実験にされたマーシャル諸島にあるビキニという環礁だった。……」

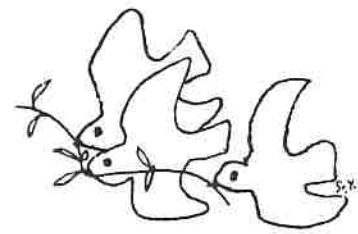
「死の灰をかぶって放射線障害にかかって、久保山さんは死んでしまった。だけど、アメリカ政府は、日本の医療技術が未熟だとか言って、久保山さんの死を認めないなんてアメリカはずるいと思います。」

「アメリカは、ビキニの人々を実験が終わったらすぐ帰島させると約束したのに、二〇年以上を転々と移住させられた。口ではどんなことでも言えるんだと思いました」

「私の家の近くに夢の島があります。そこに、第五福竜丸と乗り組み員がその時身に着けていた物が展示してあります。昔、これを父と見に行った事がありますが、ただ父が私にその展示を見ながら

『ひどいねえ』といった言葉が記憶に残っています。ただ小さい時のことなので真ん中に船があつて壁に長くつ、服などがかかっているのがかすかに頭に残っているだけで、それらがどれほどひどかったか覚えてないのが残念です。京商から、そんなに遠くないし、今度皆で見学に行くのもいい勉強になるような気がします」

このほかにもたくさんありました。この学校では十月の文化祭に有志が原爆展を行なったそうです。次の世代の子供たちに語りついで行くことの大切さを、改めて感じた次第です。(立教大学助教授・平和協会評議員)



日本平和委員会会長

小笠原英二郎

東京都港区芝一四九平和会館内  
電話 〇三―四五一―六二七七  
六三七七

金沢大学教授

小川政亮

弁護士

尾崎 陞

東京都中央区銀座七―三―二  
ニューギンザビル一―階

群馬大学学長

小野 周

### 世界に誇る 反核運動を 嶋田 興生

日本人の反核意識のなかでは、第五福竜丸事件は、広島、長崎に次ぐ第三の被ばくの意味が強い。実際には、五四年当時米ソ両核大国による核開発に日本漁船がたまたままき込まれたために起った事件であった。たまたまと言ったが戦後の日本漁業の世界をまたにかけた乱獲ぶりを見ると、核実験で危険地帯といわれた海域までのりこんで行った無暴ぶりも見えてくる。これは単に、第五福竜丸乗組員の責任だけでなく、事件当事、被ばく圏内には六百隻の日本船がいた、と言われることから当時から現在に続く日本漁業の乱獲ぶりが見える。

しかし、第五福竜丸が日本人にもたらしたものは、単なる被害者意識をこえて、マーシャル人被ばく者を含むミクロネシア、ポリネシアの核被害の実相であり、その

後の反核・独立運動への結接点であった。

ミクロネシアの島に滞在していると、東京湾の埋立地に立つ第五福竜丸は、太平洋諸島と世界の反核運動を結ぶシンボルのように眼に浮ぶことがある。これが私だけのイメージでなく、太平洋諸島の全ての人たちのものになるのもそう遠いことではないと思う。創立八周年を迎えて、平和協会の人たちのこれまでの努力に感謝すると同時に、今後も世界の反核運動への窓口をますます広めていくようにお願いするところです。(ルポ・ライター)

### 平和をおびやかす ものは誰か

松井 康 浩

第五福竜丸平和協会創立八周年を迎え、平和運動の理論についてあらためて根源から考えてみたいと思う。

広島・長崎への原爆投下、ビキニにおける第五福竜丸の被曝、こ

れらの深刻かつ広大な被害をもたらしたのは誰か、どうしてか、このことを明らかにすることが大事である。そして、その原因を除去し、その原因をつくる者に攻撃を集中することこそ、戦争の脅威をとり去り、平和を維持するゆえんであらう。

被爆のおそろしさを広く徹底的に理解してもらうことなしには、そのことを解明することの意義を見出しえないということがある。したがって、原爆記念館や第五福竜丸展示館の事業は大変重要である。展示館への入場者が三〇万人を超えたことは、まことによるこばしい。

しかし、核兵器の貯蔵量は、全人類を数回にわたってみなごろしにするに足るとのことであり、したがって、今や核兵器の廃棄こそ問題とならなければならないといわれているのに、未だ核軍拡競争が熾烈に行なわれているのはなぜか。核軍備はもとよりのこと、軍備一般が国民生活を圧迫することは絶大である。世界が、軍備に費す予算を福祉、文化に用いるならば飢に泣く人民は直ちに一掃するこ

日本ベトナム友好協会  
神立 誠

静岡大学名誉教授

神原 富 尚

静岡市長沼一十五一〇

平和協会創立八周年おめでとう  
ございます。大変ご苦勞様でし  
た。ますます協会の使命の重要  
な折です。皆様の御健闘を切に  
祈ります。

むつ市長 菊池 渙 治

むつ市小川町二一六一一九

東京中央医療生活協同組合  
理事長  
木下 繁 太郎

第五福竜丸平和協会評議員

関屋 綾 子

日本YWCA委員  
日本キリスト教協議会副議長

調布市深大寺町一九八九一

愛知大学教授

副島 種 典

日本平和委員会  
沢川支部

高井 義 季

東京合同経理事務所所長  
税 理 士

田中 健 介

東京都千代田区麹町三ノ一ノ八  
メイゾン麹町二〇三



(原水協副理事・平和協会理事)

さらに、協会の事業が、核兵器全面禁止の運動全体のなかに、しっかりと根をおろしていくようにしなければならぬ。昨年から今年にかけて、反核・非核の運動が全世界的にもあがったが、欧米でも日本でも、早くも巻き返しが効を奏しはじめている。こんな時期にこそ、夢の島にどっしりと腰をすえた第五福竜丸が、重要な役割をはたすのではないだろうか。

一九七六年六月十日に、第五福竜丸保存展示館がオープンしてから六年余り、反核教育を広めるための、大きな力を発揮してきていることは、喜ばしいことと同時に、大変意義のあることだと思っ

### 運動の輪を広げて

三井 周 二

今年にかけて、全世界に及ぶ関心事となり、大きく発展したのは、平和を守る人類のゆるぎない理念であり、被爆国日本の悲願でもあります。

一九七三年十一月に発足した第五福竜丸保存平和協会は、八年を経過しましたが、その間、原水爆についての脅威や威力を専門的な立場で、しかも、わかりやすく学習会や講演会を開いて、広める活動も続けてきました。故、広田重道氏は「第五福竜丸が保存されている江東区、その地元で平和を語

り、人類を語り合えるミーティンググループがあったら」と、熱く話していたことが思い出されます。

いつも話すようではあるが、ゴミの谷合、船の墓場に放置された第五福竜丸を発見し、五里夢中で守り抜こうと、募金集めに奔走し財政難を克服して、保存運動を続けてきた多くの善意は、止まることのない平和へのたたかいに、貢献できたと思っています。

テレビやラジオ、そしてあらゆる報道機関が、地球の危機を訴える時、「原水爆の生き証人、第五福竜丸を闇にほうむるな」といった大義にもとずいて、今日を築いてきたことを考え、広汎な大衆運動の中から生まれた平和協会が、より多くの人達から期待をされる、平和運動の力強い拠点になるであらうとも思えるのです。

人類の平和と安全を守るために  
平和思想、原水爆禁止を堅持し、  
更に運動の輪を広げていくことを  
心に刻みつつ、祝辞とします。

東京建設従業員組合書記長  
・平和協会評議員

とができ、全人類は、平和と豊かさの中で幸福な生活を送れることは明白である。

このゆえに、大量殺人をめざす軍備増強が、実は大企業の利潤の確保増大を役目とする国家権力と深く結びついて遂行されていることを知る必要がある。軍拡予算はいつの世でも、福祉や教育予算の削減のうえに獲得されるものなのである。軍拡予算を聖域化することに反対し、おろかなる軍拡をやめさせようではないか。

(弁護士・平和協会監事)

### 俳句の

#### 「色紙ゼッケン」

浅野道風

反核のゼッケン菊が熄んでいる

今年マスコミ関係が特に平和・反核の問題を多くとりあげた事もあって運動は大きな展開を見たものと思います。

原水爆資料室開設の問題を含めて第五福竜丸の事をどう進展させ

るかで新年を迎えたものでした。まず第五福竜丸を多くの方に見て頂く事、どうその機会を得るかでした。

今年も広島市の平和大会に参加される方々に第三の被爆・第五福竜丸を見学する事の大切さ・必要性を平和活動の一端として訴えました。この考えを私以外に実践された方がいた事です。東京北区で小・中学生四十数名を引率して広島大会へ出席する前に大会の雰囲気慣れさせる意味で展示館を訪れたという話を大会後耳にし非常に嬉しくなりました。

俳句は趣味の領域という。それを越えて運動や行動にどう連結をしようかを書き直した。始めはタスキに俳句を書きました。それが手製のゼッケンに変わり現在は俳句の色紙をゼッケンに挿入する方法をとっている。人間の心とは弱いもので多人数で行動する時は仲間意識が作用して気づきませんが会合や大衆の前で俳句入りのゼッケン姿は最初は勇気がいり心おじやしたものです。今は慣れました。福竜丸だより54号に発表した俳句核廃絶声ごうごうと芽木を衝く

は四〇万人が反核の決意を示した五月二三日の「82年平和のための東京行動」に参加した時の作品。(ローカル紙・都北新聞紹介) 広島へ草の根汗の手をつなぐは八月八日「原爆忌東京俳句大会」の席で使用した時の作品。(現代俳句協会幹事)

### 第五福竜丸の

#### 重要性

猿橋勝子

私と第五福竜丸との出会いは、一九五四年三月のビキニ事件にさかのぼる。船上にふった死の灰の本体を知るための化学分析のお手伝いをする事になった。死の灰の放射性元素成分については、東大理学部の木村健二郎、南英一両教授以下、化学教室の全員が総力をあげて分析をいそいでいた。

五月二十八日、私は南先生と不破敬一郎助手(現、東大理学部教授)の突然の訪問をうけた。「貴女が開発した微量拡散分析法で、ビキニ灰の炭酸含量をきめてほし

木村健二郎

映画監督

木村莊十二

東京都江東区大島六一一五四四〇

日本宗教者平和協議会事務局長

佐々木千代松

川崎市多摩区登戸一二七四

日本科学者会議代表幹事

塩田庄兵衛

日本アジアフリカ連帯委員会

柴田政利

福岡県原水協会会長

白井正

柳川市柳町八

名古屋大学名誉教授

新村猛

名古屋市名東区極楽五十五〇

住田梅太郎

東京都世田谷区上北沢四一〇一八

につづき、一週間か十日に一度の頻度で行われている。条約に加盟しない中国、フランスは大気核実験を強行している。

広島、長崎、そして第五福竜丸は、文字通り人類の身代りとなつて、核兵器のおそろしさ、残酷さを私たちに教えてくれた。核廃絶なくしては、もはや人類の生きる道はない。ビキニ水爆の生き証人としての第五福竜丸の存在は、きわめて貴重である。私はこの度、本協会理事にえらばれたが、その責任の重さを痛感している。

(日本学術会議会員)  
・平和協会理事

### 創立八周年に想う

田沼 肇

今年が第五福竜丸平和協会の創立八周年にあたるという事は、あと二年、一九八四年に協会は一〇周年を迎えるわけだ。それは、ちょうどビキニ被災三〇周年とも重なる。したがって、私たちは、この一九八四年をひとつの目標に

し、協会の事業の意欲的な、計画的な前進をはかる必要があるのではないだろうか。

展示館の見学者は、開館以来三〇万人をこえたが、最近半年間は六万人。もし、ビキニ水爆被災三〇周年の記念日(一九八四年三月一日)までに、見学者総数五〇万人突破を目標とするならば、これから日々の見学者を二倍以上にふやしていかなければならない。たいへんな努力を必要とするだろうが、見学者総数五〇万人突破は私たちの事業にとって、最小限の目標といえるべきだろう。ほんとうは、一〇〇万人突破としたいところだが……。

それにつけても、協会の事業を内外の平和・軍縮教育運動といっそう密接に結びつけていかなければならない。展示館の展示のしかたを、できうるかぎり科学的にしていくという協会の方針は、この方向にそうものであり、見学者の理解を正確にし、印象をより強烈にするにちがいないと思う。また、ユネスコの軍縮教育運動の流れをくむ活動への積極的参加も、有意義であろう。

### ちいさな骨のうた 広田重道さんに捧げる 永井和子

はるじおん  
月見草  
草もみじ  
日本のやさしい  
四季の草たちに守られて  
がっしりと立つ 第五福竜丸  
せおって生きてきたあなたの胸に  
カラカラと鳴る骨のうた

たった二才の女の子だった  
栄養失調のうえ  
エキリにかかって  
あつというまに死んでしまった  
昭和19年上海  
てのひらにはいるほどの  
骨董だいて  
焼けただれた街をのがれあるく  
あなたの胸に  
カラカラと鳴る骨のうた  
ちいさな娘の ちいさな骨

センソウ ハンタイ  
父親の口ぐせ口うつしに  
おさない唇がつぶやいて閉じた  
センソウ ハンタイ  
そのひとことをいうために  
職をうばわれ  
住むことをうばわれ  
家族のきずなをうばわれ  
牢にぶちこまれ  
殺されていった人たち

決して黙っていられる  
日本でないから  
銀髪を潮風になびかせながら  
第五福竜丸せなかに  
あなたは 声はりあげる  
日本じゅうのちいさな骨が  
あなたにこたえる  
センソウ ハンタイノ

生きぬいたあなたの  
張り裂けた胸

台風のたびかけつけて、泥水を  
かい出した福竜丸。人形劇団「京  
芸」の荒木昭夫さんを迎えて福竜  
丸を主題にした「夢の島の白い船」  
の構想を熟っぽくきかされた日の  
こと。

センソウ ハンタイ  
戦後の三十六年  
そのひとことを唇にきざんで  
あるきつづけた あなたには  
いままも 胸もとに  
骨のうたがきこえる

私にとって第五福竜丸は、江東  
での十数年のさまざまな運動のな  
かの鮮やかな点です。

たくさんの命うばいながら  
罪もかんじないで生きている男た  
ちがいまもつくりつづける  
ミサイル カクヘイキ チュウセ  
インパクト

広田重道さんの想い出は、そ  
のなかでも強烈な、悲しみ。福竜  
丸について、といわれれば、広田  
さんを迎えた今年正月の面白館で  
の集いで創った詩をご紹介しますの  
が一番のように思います。

塚原亮一

外山雄三

畑敏雄

服部学

東京工業大学・群馬大学名誉教授

### 編集後記

▼十一月二十八日、平和協会創立八周年を迎える。この福竜丸だより記念号にと次々と原稿がおくられる度に感謝の気持ちと共に新たな展望がひらかれるのである。反核・平和を求める声が年ごとに高まっているのは多くの方々の運動の成果だと確信をするからである。

来館者もいま三十一万人を超え、百万人を目標にめざしつつある。▼十月から学校の団体見学も日増しに増え、展示館もにぎやかになってきた。十一月だけでも、五〇校の予約があり、展示館の果たす役割りも重要視されてきたようである。日曜日には、家族ずれや青年などの来館者が訪れ、見学したあと備えつけのビデオ(人間をかえせなど)みたいとの要望も多くなり忙しい一日を過ごす。又、各出版社より寄贈されたたくさんのお絵本を讀む子どもたち。展示館も

江東区の人々の集いの場となり、都内はもちろん都外からはるばる訪れる来館者に励まされながら、よりよい展示館づくりへと事務局一同知恵を働かさせている。(も)

### 来館者の声から

私は広島に前いたんですけれど原爆し料館でみたおどろきはすごいものでした。このふくりゅう丸じけんは、もっともとおそろしいものだと思います。ホントに私たちはただかいを続けなくちゃいけないと思いました。

この船をみてとても古いものだとおもいました。ビキニのじけんがこのようなひがいがでてしまつてかわいそうである。しんぶんにもあれだけのるようなじけんだとおもわなかった。本当になみだができるようなおもいでふねをみつめた。(安藤・谷田・山村)

今日もまたきてしまった。やっぱりかく兵器はおそろしいものだ。もつこの原子力を平和のためにつかえばいいとぼくは思った。(川口市立仲町中学校・三年)

移動を強制されたビキニ島の住民、周辺諸島の人々は今、どうしているのでしょうか。被爆して亡くなった方も少くなかったという資料を見て、広島、長崎の被爆者の今日をそれなりに知り得る私としては、そこが非常に気がかりです。それにつけても、狂気の核実験の多さ……。人類の未来に暗い気持ちだけ——もて(住民運動でつくられた)、この展示館の歴史を知らなかったら……。

どおしてかくへいきをつくるのだろう。船は私をみつめていたような気がします。私はもうかくへいきをつくったり、使ったりしなくなるように努力します。私なりに。(小学五年 安 由美子)

「福竜丸を見て、えんまこおろぎこしぬかす」という詩が心に残りました。

この館の存在があまり一般的でないような気がします。通りがかりに見つけて入場したので、もつとこの館の所在を宣伝する必要があります。と思います。(東京・内海)

ぼくたちは原子爆弾を写した写真をみてとてかなしかった。ぼくはなみだがでてきた。手でふきとったあとをノートにつけておきました。これからの日本を平和であるように心から願います。

核のおそろしさをよく知りました。これから私達若者は、今以上に大切であると思います。世界平和の為に一人一人が核についてもっと知り、どのようにすれば世界平和になるのだからかといつも考える事が必要ではないでしょうか。

私は今まで広島・長崎の原爆について調べ学んできました。広島・長崎は戦争中の事件です。でも第五福竜丸は生活の中でおきた事件です。私たちの身の上にもいつ核の灰がふりかかるかわかりません。私は心から訴えたい。核兵器廃絶ノそして二度と久保山さんのような方をださないために私は核兵器の廃絶を訴え続けたい。

埼玉高校生平和ゼミナール 服部まゆみ

超強国の力握る3人の耳に  
反核の波のとどろき届け  
日本学術会議前会長  
伏見康治

山口 勇子  
東京都品川区北品川三三三七八〇二

株式会社 水曜社  
代表取締役 藤原 弘  
東京都文京区後楽二二二一八  
〇三二八二一三七九六〇

日本原水爆被害者  
団体協議会  
東京都港区新橋五二二二一七  
久保ビル三階 電話〇三二四三八一八九七

原水爆禁止日本協議会代表委員  
細井友晋  
京都市上京区北野一番町一〇七  
立本寺内 電話〇七五四六六一六五二六

原水爆禁止日本協議会  
東京都港区新橋六一九一三平和と労働  
会館内 電話 〇三三四三六三三〇五

全国商工団体連合会  
会長 内田 昌伯  
東京都豊島区目白一三三六一三

機関紙「平和の旗」  
平和と軍縮をめざす  
全国連絡会  
東京都豊島区駒込二一三五六三松ビル内

港区母親連絡会

堀田てる子

財団法人

原爆の凶丸木美術館

全建総連  
東京建設従業員組合  
委員長 望月 門八  
東京都江戸川区東葛西七十六四  
電話(〇三二六八九一三一九一

横浜市従業員労働組合  
中央執行委員長 姫田政雄  
横浜市西区宮崎町二五

新京橋法律事務所 弁護士

松井康浩

東京都中央区京橋二二二二二二  
宝友ビル四階 電話〇三五六二一六四二

新俳句人連盟  
東京都豊島区池袋本町一五一一九  
徳富いさを方

日本機関紙印刷所  
労働組合  
東京都港区西新橋三二一七七八  
電話 〇三二四三二一五三二

第五福竜丸平和協会  
会長 三宅 泰雄  
副会長 榎山 義夫  
理事 齊藤 鶴子  
理事 猿橋 勝子  
理事 田沼 肇  
理事 本多 喜美

●核世界の先端

マーシャル諸島

<9>  
文・写真 島田興生

一九五四年以来、マーシャル諸島の被ばく者の症状を追跡調査をしている米国エネルギー省の医師団がこの秋も島にやって来た。彼らは春と秋の年二回、被ばく者を追って彼らの住む島じまを必ず訪れる。

問診、血液、尿の採取、レントゲン撮影などの検診だけで治療を

一切行なわないこれら米国の医師たちを、彼らの前身であるAEC(アメリカ原子力委員)の呼び名で、現在も住民から恐れと怒りをもって呼びつけられている。

八一年十月、AECが検診した住民数は表の通りだが、この他にロンゲラップでは、歯の治療で四〇人、十四才以下の子ども百二十

人全員、十五才以上の大人四〇人が検診を受けた。ウトリック島の非被ばく者二百人も同様に検診を受けた。

医師団が二百トンの貨物船を改造した診療船で島に到着した日、村の主だった人びとが村役

	現 住 地	
ロンゲラップ 被ばく者	ロンゲラップ島	19人
	イ バ イ 島	30人
	マ ジ ュ ロ 島	9人
	その他の島 (ハワイなど)	4人
ウトリック島 被ばく者	ウトリック島	58人
	イ バ イ 島	14人
	マ ジ ュ ロ 島	30人
	その他の島	11人
ロンゲラップ 非被ばく者	ロンゲラップ	24人
	イ バ イ 島	71人
	マ ジ ュ ロ 島	19人
	その他の島	20人

場に集められた。医師五人、看護婦二人、アシスタント、通訳ら検診チーム十三人は、村人の前で、自己紹介のあと、村の寄生虫保持者が七八

年以来十分の一に減少したことや、婦人の貧血症が世界平均より少ないことなど、これまでAECチームが住

民の健康維持に貢献してきた面を強調しながら、今回の検診の特徴を説明した。

それによると、今回は十四才以下のこどもの検診に重点を置いており、そのために、小児科の専門医が五人中二人含まれているとのことであった。

※お礼とお詫び

他たくさんの方々から原稿と名刺広告をお寄せ下さいましたが紙面の都合上、来月号にまわさせていただきますのでご了承下さい。



AECの検診を受けるミツワ・アンジャインさん(54)。彼女は、世界初の水爆による死者とアメリカが「認定」したVコジ・アンジャインの母だ(81年10月、ロンゲラップ島)。